市内20地区で20通り！

魅力ある 20 の地域づくり

益田市では、平成 26 年から地域自治組織の設立を支援し、令和 3 年 4 月に市内 20 地区全てにおいて地域自治組織の設立が認定されました。地域自治組織では、地域の歴史や伝統、文化を尊重し、地域の個性などそれぞれの特色を活かした地域づくりを進めています。

地域自治組織とは

その地域のことを一番理解し、考えている住民や団体が、自らの地域を住みよいものとするために、自主的、主体的に取組む組織であり、自分たちのことは自分たちで決め、動かしていく、まさに地域住民が主役となった地域づくりの形です。

【問い合わせ先】市連携のまちづくり推進課　☎ 31-0600

各地区の活動をのぞいてみよう！

人とのつながりが感じられ、安心して住み続けられる地域づくりを目指して、試行錯誤しながら各地区ではさまざまな活動を行なっています。

まずは一歩！
皆さんも一緒に地域づくり活動をしてみませんか？

※掲載しているのは活動の一部です。
各地区の取組は市ホームページで紹介していますので、ぜひ、ご覧ください！！

組織の名称

地域づくりのテーマ（「まちづくりプラン」より）

地区名

写　真

こんな取組をしています！

ますだ地域づくり協議会

ひと・まち・歴史の鼓動を感じるまち

益田地区

日本遺産認定記念スタンプラリー（令和 3 年）

◆歴史部会…日本遺産の地図を作成し、まち歩きコース・七尾山トレッキングコースの開発・検討など歴史を活かした活動を進めています。昨年は益田東中学校の 1 年生と「日本遺産認定記念スタンプラリー」を開催しました。今年も 10 月に開催を予定しています。

◆安心安全部会…「益田地区豪雨・水害時避難所マップ」の作成や自主防災勉強会の開催等、自主防災活動を地区に浸透させる取組を行なっています。

◆ふれあい部会…ホームページの充実のほか、益小プロジェクトや家族食堂など世代間の交流の場をつくる活動を進めています。

吉田地区自治協議会

元気いっぱいひとがつながるまち吉田

吉田地区

歴史茶話会

「安心安全なまちづくり」「歴史文化を活かしたにぎわいづくり」「健康なまちづくり」を目標に、部会に分かれて活動しています。

そのうち、「歴史文化を活かしたにぎわい部会」では“地域の歴史を掘り下げ、親しもう”という試みで、毎月「歴史茶話会」を開催し、歴史好きな住民が集まって楽しく地域の歴史を学んでいます。今年は「埴輪が語る古代の衣食住＋武」をテーマに、古墳と埴輪について学んでいます。一方的に講師の話を聞くのではなく、参加者が自由に質問や意見交換をする中で理解を深めています。

万葉の里　高津未来の会

「住んで良かった！」高津っ子の住みよいまちづくり

高津地区

高津川と高角橋

◆歴史・伝統文化の薫るまち部会
ふるさと教育デジタルアーカイブ事業、柿本人麿の終焉伝承を継承する事業、万葉まつり新実行委員会の立ち上げ、地域を盛り上げる和太鼓事業（高津公民館と共催）

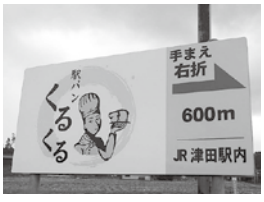
◆安全・安心なまち部会
見守り活動や防犯パトロールの実施、花いっぱい運動、ゴミのないまちづくり、空き家対策や防災事業

◆つながり部会
「ひとまろつながりマルシェ」の開催、各種事業計画の検討、「ありがた市」開催の検討

一般社団法人安田地域づくり協議会

地域資源を活かした、生き生きとした住みやすい安田

安田地区



「駅パンくるくる」案内看板

◆「地域お助け隊」事業
地域の“困った”を解決する取組として、草刈りや庭木の剪定・伐採などを登録作業員が有償で行なっています。

◆JR 石見津田駅内「駅パンくるくる」
コミュニティ活性化を目的に運営しています。また、交流拡大を図るため、地元の野菜等の朝市を月 1 回開催しています。

◆「地域内買物支援」事業
移動手段を持たない高齢者等を対象に、スーパーでの買物支援を毎月第 2・第 4 水曜日に実施しています。

その他、旧山陰道の草刈りを年 2 回、遠田川・津田川の環境整備を随時行なっています。

かまて地域づくり協議会

地域資源を活かし「住みよい」鎌手

鎌手地区

SUP（サップ）のミニ体験

鎌手の魅力を発信する「魅力づくり部会（カマテチャームラボ）」では、地域外に広く鎌手の魅力を発信するとともに、鎌手に住む人達にも地元の良さを再認識してもらいたいという思いで活動しています。

今年度、児童クラブの子ども達の海遊びのサポートとして、SUP（サップ）のミニ体験を実施しました。夏の日差しの下、透き通った海で元気いっぱいに遊び、鎌手の良さを実感してもらえたと思います。

今後もこうした活動を通じて、鎌手の良さを地域外に広く発信するとともに、地元の人達の「元気の素」になれるような活動を続けていきます。

種むらづくり推進協議会

地域が輪となって支え合い　地域の魅力と資源を活かした活力あるまちづくり

種地区

高齢者サロン活動

◆定住対策活動…「種だより」等による地区内外へ向けた魅力発信と、伝統芸能や行事への参加による交流人口の拡大を図ります。

◆高齢者・子ども支援活動…買い物ツアーやサロンの開設による高齢者支援や、寺子屋の開設による子ども見守り活動等の世代間交流を行なっています。

◆農業振興活動…荒廃農地の解消や農産加工場と連携したふるさと便の発送・開発・販売に取組んでいます。

◆災害対策活動…防災教育や訓練活動等を行い、災害に対する住民意識の向上を図ります。

北仙道の明日をつくる会

忘れられない、明るいまちづくりのシンボルとして！

北仙道地区

「北仙道へようこそ！」

地区の住民に“郷土を常に忘れない”という意識を持ってもらうため「北仙道へようこそ」「北仙道にまた来てね」の看板を地区の主な道路に設置しています。

2007年に北仙道小学校が廃校になったことで、「北仙道」という地域名が薄れ、忘れ去られることのないようにという願いを込め、地区のＰＲや関係人口の創出を図る事業として行なっています。

北仙道にお越しの際には、ぜひ気に留めてみてください。

とよかわの未来をつくる会

「住みよい豊川・住み続けたい豊川」そして未来へ

豊川地区

第１回ひとまちカレッジ
みんなで苗を植えよう！

豊川の未来を見すえた事業として、「みんなでつくる」をコンセプトに「フルーツガーデンづくり」を今年度からスタート。

植付けから収穫までの体験を通じて果樹や農の楽しみ方を学びます。「楽しく」「大人も子どもも」「自分たちで」をキーワードに、地域内外の親子をはじめ全世代をターゲットに、地域資源を活用した体験型の交流プランで学びの場を提供し、交流の機会を生み出していきたいと考えています。

地区内の人が楽しみながらこの取組に関わり、豊川の新たな地域交流の拠点として発展することを夢見ています。

ときめきの里 真砂

食育と福祉を主軸に、地域で子どもを育てる“子育てしやすい”まちづくり

真砂地区

ひら山のふもとカフェ
tele-glue（てれぇぐれぇ）

真砂地区には飲食店がないため、“住民が気軽に集い、飲食しながら交流できる場“として、平成28年に「ひら山のふもとカフェtele-glue（てれぇぐれぇ）」をオープンしました。

誰でもカフェ営業ができるよう保健所の許可を取得し、１DAYシェフとして料理に挑戦したり、お客さんとして応援したりできます。また、飲食以外の施設利用もできます。

住民による週２日のモーニング喫茶や小中学生のチャレンジの場「こどもカフェ」のほか、地区外の方によるイベントの開催など、交流と挑戦の場となっています。

西益田まちづくりの会

一人ひとりが輝く　“いいまち　にしますダ!!”

西益田地区

きらりスポット地図
（大地図）

西益田地区には「自然・歴史遺産・活動場所等の良いところ（きらりスポット）」がたくさんあります。こうした地域の良さを地元の方にアピールするため、３種類の「きらりスポット地図」を作製しました。大地図は豊田公民館横のリバーサイド・スペースに設置し、アルミパネル版は30枚を作製して学校や保育園などに設置しています。ブックレット版は2,000部作製して地区の全戸へ配布しました。今後は、これらを小中学生のふるさと学習や地域の活動・イベント等で活用し、地域振興につなげたいと思います。

西益田のきらりスポットを多くの方に知ってもらい、ぜひ探索してほしいです！

二条里づくりの会

里山をいかし、人と自然がつながる二条
～ みんなで　つろうて　ようしょうやぁ ～

二条地区

京丹後市からの視察団
（7月29日）

この会の根幹の有害鳥獣対策は、ICT技術・IoTデバイスを活用し、順調に進んでいます！イノシシやアライグマの被害は相変わらずですが、最近は「サル囲い檻」の成果と各地区に配置されている８名の連絡員の努力のかいもあり、サルの被害はかなり減っています。今年５月の定期総会で役員改選があり、役員の平均年齢は少し若返りましたが、後継者育成・地域マネージャー制と法人化・自主防災組織の設立など課題は山積みです。

「人口減少に耐えながら地道にコツコツと」が“今までも”そして“これからも”進む道です！

はつらつ美濃の里

地域の景観向上事業（ひまわり）

美濃地区

美濃のひまわり

はつらつ美濃の里では、12年前から休耕田の有効利用と景観向上の目的でひまわりの植栽を実施しています。

今年は播種機を導入し、今まで通りボランティア活動を優先するものの、栽培面積の拡大が可能になりました。ひまわりが地区の花として定着し、多くの見物者が訪れるなど、事業の継続は地域にとって大切な活動となりました。

無農薬栽培にこだわった自慢のひまわりの種で作ったオリジナルのクリームは、“お肌がとてもしっとりする”と人気の商品です。

夢あふれる小野の里

海・山の恵みを活かす小野の里

小野地区

子ども見守り隊

近年、全国各地で児童をめぐる悲惨な事件が発生しており、事件の未然防止のための子どもの見守り活動が各所で実施されています。

地区内の５自治会（飯浦・小浜・戸田・喜阿弥・滑）から「見守り隊員」を選任し、地元小学校児童の登下校時の見守りを主体的な取組として、「小野地区子ども見守り隊」の活動を令和２年４月から開始しています。

隊員が「おはよう！行ってらっしゃい！」と声をかけると、とても活力のある返事が返ってきます。隊員からは「子どもたちから毎日パワーをもらっています！」など、嬉しい報告が多く寄せられています。

なかにし地域づくり協議会

いつまでも、いきいきと暮らし続けられるまちへ

中西地区

中西いき活き朝市

◆「中西ヘルスポイント」で地域活性化
公民館の健康教室等に参加するとポイントが貯まるしくみで、生きがいづくりや元気な地域づくりにつながっています。

◆「中西何でもお助け隊」で高齢者の生活支援
家の周りの草刈りや庭の手入れ、墓掃除等を行なっています。住み慣れた地域で暮らし続けることができるよう、交通支援対策の取組を進めています。

◆「中西いき活き朝市」で生きがいづくり
毎月第３土曜日に公民館で朝市を開催し、地元の野菜等を販売しています。地区内外から多くの方が訪れ、地元の生産者の生きがいづくりのひとつになっています。

東仙道ちいき協議会

助け合えるまちづくり

東仙道地区

桜のライトアップ
（ひだまりパークみと）

「互助部会」「地域活性化部会」「福祉健康部会」の３つの部会で活動しています。

全体の取組として、四季を通じて東仙道の自然を中心にライトアップしています。令和２年度には「まちづくり活動特別補助金」を活用し、写真映えスポットとして地区内外へ魅力を発信する「東仙道花園ライトアップ事業」を始めました。

９月は彼岸花、10 月～ 11 月は紅葉、11 月～１月は神宝山八幡宮の鳥居、３月～４月はひだまりパークみとの桜をライトアップしています。

地域自治組織 ささえ愛都茂

「住みよい都茂、住みたい都茂、住み続けていける都茂」をつくる

都茂地区

オリジナルポロシャツとジャンパー

◆暮らし部会…地域住民の外出支援のため、地区内の輸送に限った自治会輸送（ささえ愛号）活動や、地域の人が安全に避難できるよう防災マップを作成し配布しました。

◆環境部会…地域の困りごと支援として「お助け隊」を立ち上げ、生活環境を守る手伝い（草刈り等）をしています。

◆いきいき部会…日本遺産の構成文化財の都茂鉱山跡を軸にまちづくりを進めています。遊歩道整備のほか、地元企業と共同で「都茂クッキー」を開発し、その形をモチーフに木製ストラップも作成しました。現在、都茂をもっと知ってもらうためのマップ作成を考えています。

ぬくもりの里二川

自然とともに　人とともに生きる　温もりある二川

二川地区

うずめ飯

郷土料理や地域に伝わる手仕事にスポットを当てて、活かす活動をしています。そのひとつがうずめ飯で、季節の具材を煮たものに、上からご飯をのせて「埋（うず）めて」食べる、地域の人と人とをつないできたご飯です。

このうずめ飯を、月１回美都温泉で販売し、地域の人の集いの場、また、地域外から訪れた人とのつながりの場を作っています。

秋には、ヨモギのおやき作りと羽釜ご飯などのキャンプ要素も加えたうずめ飯作りを予定しています。

今後は自炊や地産地消と絡めながら関係人口増加につながるメニューに育てていきます。

匹見上　清流の郷

～自然とともに澄み（住み）続けたい郷づくり～

匹見上地区

貸出箱罠　捕獲後の様子

◆魅力発信…「匹見上　清流の郷から」（便り）の発行や地域資源を活かしたイベント（地区花火大会・川体験・きのこ狩り）支援、ポロシャツの作製・販売を行なっています。

◆支援…カルチャー教室（スマートフォン）や健康教室の開催のほか、支え合いマップを作成しました。

◆環境保全…動物駆除用煙火保安手帳講習会（取得補助）、煙火花火の実施、鳥獣被害対策研修会のほか、罠猟取得補助支援を行なっています。また、４基のイノシシ檻を保有し、今年度は４頭を捕獲しました。

匹見下いいの里づくり協議会

ささえ愛　みんなでつくる　いいの里

匹見下地区

とちの実交流会

◆子どもたちの成長や住民のうるおいづくり…「いいの里っ子塾」、映画・芸能の鑑賞等

◆住民の健康と交流の場づくり…100 歳体操やグラウンド・ゴルフの定期開催、年２回の体力測定や健康講演会の開催

◆人とのつながりづくり、思いやる心を育むイベント…地区民運動会、ふるさと祭り等

◆地域資源を活かした世代間交流・他の地域との交流…とちの実交流会、明誠高校キャリアサポート等

◆匹見上、道川、匹見下の３地区と協力した取組…産業文化祭、匹見峡温泉等

◆鳥獣被害対策の実証実験…サル侵入防止用電気牧柵の設置、動物駆除用花火

道川地域づくりの会

輝け笑顔！深まれ絆！行くぞ道川！　～出合い　ふれあい　助け合い～ 笑顔がつなぐ明日の道川

道川地区

「ひまわりを咲かそう」
プロジェクト

恵まれた豊かな自然や特色を活かしながら、“住む人”“来る人”の出合いにより地域の賑わいを創出し、お互いの助け合いやふれあいを通していきいきと安心して暮らすことができる地域を目指して活動しています。

◆賑わいづくり～出合い～
人が集まる機会をつくる活動、地域の宝を活かす活動、里山の景観を活かす活動

◆ひとづくり～ふれあい～
歴史文化をつなぐ活動、地域のつながりを育む活動、一人ひとりの個性を育む活動

◆暮らしの安心づくり～助け合い～
暮らしを守る活動、生活環境を守る活動